

2026 年 8 月 6 日

株式会社コアコンセプト・テクノロジー

証券コード：4371（東証グロース市場）

「部下を楽しみたい」から生まれた八千代エンジニアリングの 設計者専用 AI 図面管理システム「TERNO」 八千代エンジニアリングと CCT による開発の軌跡を事例・インタビューで公開

製造業・建設業を中心に DX 支援を手がける株式会社コアコンセプト・テクノロジー（本社：東京都豊島区、代表取締役社長 CEO：金子 武史、以下「CCT」）は、八千代エンジニアリング株式会社（本店：東京都台東区、代表取締役社長執行役員：高橋 努、以下「八千代エンジニアリング」）が開発した AI 図面管理システム「TERNO（テルノ）」の開発協力事例ページを本日公開しました。あわせて、当社オウンドメディア「Koto Online」にて開発の軌跡を紹介するインタビュー記事も公開しています。同システムの活用により、手作業に依存していた設計業務において従来の作業時間と比較して約 30%の業務効率化が実証されており、CCT は現在も保守および販売代理店を担うとともに、今後の機能拡充においても協力を継続してまいります。



左から 八千代エンジニアリング株式会社 国内事業部 構造・橋梁部 副部長（技術士） 阿部 雅史 氏、株式会社コアコンセプト・テクノロジー エンタープライズ SI 事業本部 システム開発部 副部長 三浦 洋平

※肩書は 2026 年 8 月時点のものです

■背景

八千代エンジニアリングは、道路・橋・トンネルなど社会インフラ整備に関するコンサルティングを 60 年以上にわたり提供してきた、国内トップクラスの総合建設コンサルタントです。

インフラ設計の現場では、設計内容の誤りや矛盾を第三者がチェックする「照査」と呼ばれる工程が不可欠です。この照査作業は紙図面への赤入れといった人力での照合が中心で、設計者の大きな業務負担となっていました。また、複数の担当者が関与することで図面ファイルが乱立し、最新版の管理が課題となっていました。

既存の図面管理ツールでは土木図面特有の情報量や複雑さに対応できないことから、八千代エンジニアリングは自社主導での開発を決断。建設業への DX 支援実績を持つ CCT が開発パートナーとして協力しました。

■ CCT の支援内容と効果

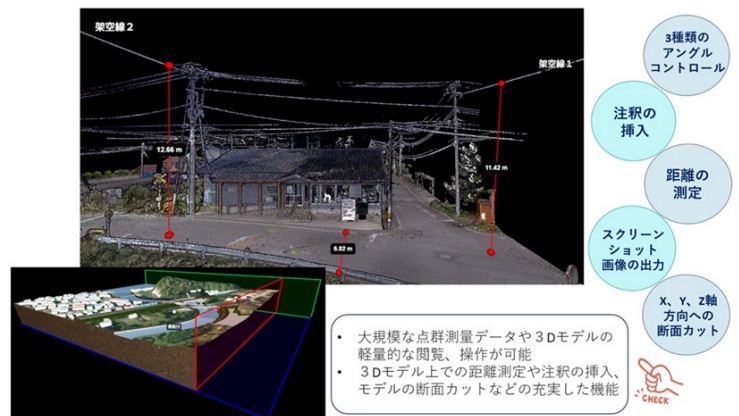
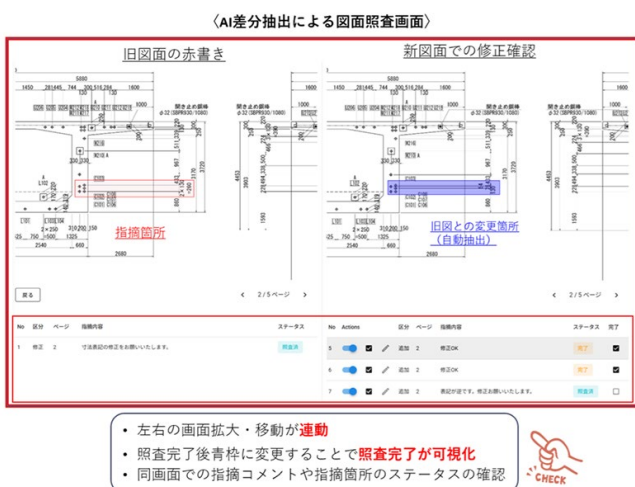
CCT は、建設業への DX 支援で培ったノウハウと自社開発基盤「Orizuru」を活かし、まず八千代エンジニアリングの設計業務フローを深くヒアリングし課題の本質を共に言語化した上で、「TERNO」の開発に協力しました。

主な支援内容

- 設計業務フローの課題整理から参画し、現場フィードバックを反映しながらアジャイル開発を推進し、業務フローに自然に馴染むシステムを構築
- AI による自動差分抽出機能の開発により、紙の赤入れや人手照合をデジタル化
- 「版管理ダッシュボード」の実装により、照査過程のファイル乱立を解消し最新版を一元管理
- CCT の開発基盤「Orizuru」を活用した軽量 3D Viewer により、大容量データの高速度表示を低コストかつ短期間で実現

効果

- 修正箇所の確認・照合作業が大幅に効率化し、設計者が本来の業務に集中できる環境を実現
- 最新版探索の手間がなくなり、照査作業の管理コストが解消
- 設計業務全体の作業時間が約 30%削減（20 枚の図面における作業時間をもとに八千代エンジニアリング調べ）



CCT が開発を支援した主な機能：AI 差分抽出機能（左）、軽量 3D Viewer（右）

■ お客様の声

八千代エンジニアリング株式会社

国内事業部 構造・橋梁部 副部長（技術士） 阿部 雅史 氏

CCTさんは、まず弊社の業務フローや課題を細かくヒアリングするところからプロジェクトをスタートしました。依頼事項をこなすだけでなく、全体を理解した上で背景にある課題を把握し、必要に応じて解決策を提案してくれるため、共同開発を進めやすい環境が生まれました。

開発においては、まず必要最小限の機能を作成して提示し、現場のフィードバックを受けながら段階的に機能を拡張していくアジャイルな進め方を採用。計画の要所で成果物を社内に示しながら合意形成を図ることができ、手戻りも少なく完成までの流れがスムーズでした。現場の作業に寄り添った、使い勝手の良いシステムが実現できたと感じています。

■今後の展望

八千代エンジニアリングは、TERNOの継続的な機能改善を通じて、設計者が創造的な業務に専念できる環境の実現と、設計に携わる業界全体への普及を目指しています。

CCTは今後も、保守および販売代理店として「TERNO」の事業を支えるとともに、事業や現場に寄り添う伴走型DX支援を通じて、建設業をはじめとする各産業の中長期的な成長と社会価値の創出に貢献してまいります。

▼事例詳細はこちら

<https://www.cct-inc.co.jp/solution/case/9634/>

▼当社オウンドメディア「Koto Online」でのインタビューはこちら

「部下を楽しみたい」がDXの原動力。設計業務時間を3割削減したTERNO開発秘話

<https://www.cct-inc.co.jp/koto-online/archives/825>

▼TERNOの詳細はこちら（八千代エンジニアリング）

<https://www.yachiyo-eng.co.jp/terno/>

■八千代エンジニアリング株式会社について

国内トップクラスの総合建設コンサルタントとして、国土交通省を始め官公庁から公共事業を受託し、社会インフラや環境保全に関する技術コンサルティングサービスを、設立より60年以上にわたって提供しています。近年は、これまで培った技術ノウハウを民間企業へも提供しビジネスの領域を広げています。

所在地：東京都台東区浅草橋 5-20-8 CSタワー

代表者：代表取締役社長執行役員 高橋 努（たかはし つとむ）

設立：1963年1月29日

URL：<https://www.yachiyo-eng.co.jp/>

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社コアコンセプト・テクノロジー 広報・IR担当

E-mail: ir@cct-inc.co.jp